

基金は、このようなことに使われています

日本語教室の運営費・会場費実費



外国人学校での日本語指導



教材や文房具など学習に必要なもの



基金で支援している 日本語教室のボランティアからの声

自分の興味のある職業分野や適性を調べながら、自分の将来について真剣に考えています。



イラストを見ながら、物の名前を言えるようになりました。

【日本語学習支援基金事務局】公益財団法人愛知県国際交流協会 交流共生課 共生担当

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1 愛知県三の丸庁舎内

TEL:052-961-1409/FAX:052-961-8045/E-mail:kikin@aia.pref.aichi.jp

(令和元年 月 日発行)

～ 日本語学習支援基金への御協力をありがとうございました ～

平成 30 年度の事業実績

愛知県内の公立小・中・高校には、日本語指導が必要な外国人児童生徒が9,100人（平成30年5月1日現在）在籍しています。これは、2位の神奈川県4,453人を大きく引き離し、全国一位の数字です。

皆様のご協力により造成いたしました日本語学習支援基金では、それらの児童生徒の日本語学習を支援するための事業を実施しています。

平成30年度の事業の実績をご報告します。

日本語教室 への支援



◆ 日本語教室学習支援事業

29 市町 51 団体 84 教室 延べ 10,113 人

外国人児童生徒に日本語指導を行うための日本語教室を運営する団体に対して、教室運営に必要な経費の一部を助成しました。

◆ 日本語能力試験受験料助成事業

12 団体 89 人

日本語教室で学ぶ外国人児童生徒が、(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し合格した際に、その受験料に相当する図書カードを贈呈しました。

外国人学校 への支援



◆ 日本語指導者雇用助成事業

5 市 6 校

外国人児童生徒に母国の教育を行う外国人学校に対し、日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成しました。

◆ 日本語学習教材給付事業

4 校 280 冊

外国人学校に対し、日本語の授業に必要な教材を給付しました。

◆ 日本語能力試験受験料助成事業

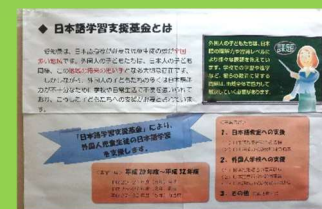
1 校 2 人

外国人学校で学ぶ外国人児童生徒が、(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し合格した際に、その受験料に相当する図書カードを贈呈しました。

その他

◆ 広報活動 ほか

基金事業や外国人児童生徒の状況などについて、寄付者や一般県民、関係機関の皆さまに、機関誌やホームページ、展示などで紹介しました。



▲ あいち国際プラザの展示スペースで基金事業について紹介しました

